

あなたの起業を応援します

盛岡で開く! 夢のトビラ

Interview >> 起業家

先輩起業家インタビュー

岩手革 代表 中村俊行さん



県産短角牛皮の買い付けから、加工、製作まで、一貫して国内での生産にこだわった純国産革製品の製作・販売を手掛ける。(37歳。湯沢西一出身)

県産短角牛皮の革製品で岩手・盛岡の魅力を世界に——

10代の頃から30歳で独立すると決めていました。働いた会社で営業や経営を学び、30歳で焼肉居酒屋をオープン。そんな中、ある養豚農家の廃業でブランド肉が消えるのを目の当たりに。店で扱う短角牛皮にも危機感を覚えました。放牧で育てられる短角牛皮は、生産量は少ないですが、上質な赤身肉というだけでなく、皮はさんざ太鼓にも使われるほど丈夫。皮の品質は海外の高級ブランドに使われる牛皮に匹敵します。これで革製品を作れば、短角牛皮に目が向けられ、ひいては生産者が潤うきっかけになるのではと考えました。しかし、事業を

始めた頃は、皮の良さをうまく説明できず、なかなか取り扱って店が見つかりませんでした。それでも、販路を広げる努力を地道に続けるうちに、名刺入れがクールジャパン商品[※]に選定されるなど、徐々に良さを分かってもらえるようになってきました。

短角牛皮を育ててきた岩手・盛岡をもっと世界に発信していきたいので、夢はファッションの最先端パリ・コレクションで製品を使ってもらうこと。自分が行動しないと世の中は変えられない! 自分がやりたいことができる——それが起業の面白さだと思います。

[※]日本の魅力(クールジャパン)を海外需要につなげるため、経済産業省が認定した商品で、パリ中心部のショールームmaison wa (メゾン・ワ)で展示・販売される

37歳	36歳	35歳	31歳	30歳	26歳	21歳	18歳
工房オープン	名刺入れが県内初のクールジャパン商品に選定される	家らと切磋琢磨	市産業支援センターに入居し、他の起業家らと切磋琢磨	市産業支援センターに入居し、他の起業家らと切磋琢磨	岩手革設立。製品の販売開始	岩手革設立。製品の販売開始	岩手革設立。製品の販売開始



縫い目がない一枚皮の仕様の名刺入れ

紅葉が丘36番21号 ☎613-5130
ホームページ <http://www.iwatagawa.jp/>

「ネコ目線のモノづくり」で世界のネコを幸せにしたい——

就職して働く楽しさを知り、生涯自分らしく働きたくて起業しました。事業計画もなく、勢いでしたね。ただ、好きなイヌ・ネコに関わりたい気持ちは明確だったので、まずはイヌ・ネコ用品の仕入れ販売を始めました。経営を続けるうちに、世の中にイヌ用品は豊富でも、ネコ用品は少なく困っている飼い主が多いことに気付きました。そこでネコ用品の販売に特化したところ、お客さまが増えるように。すると今度は、お客さまの要望に応えられるような商品が意外と少ないことに気付きました。それなら自分で作ろうと製品開発を決

意。伝手も経験もないので、電話帳で調べて、作ってくれそうな工房に片っ端から電話しました。ようやく見つかった1社と試行錯誤し、猫にとっての使いやすいなど「ネコ目線」を重視した製品が完成。ブランド化して販売を始め、今では、お客さまの声も反映した製品数は30種類以上になりました。これからは病気予防などネコの健康を第一に考えた製品に力を入れていきたいですね。世の中の困りごとを自分で解決できるのが起業の魅力! 失敗したら修正して、また進めばいい。とりあえず動いてみるのが大切だと思います。



[※]日本デザイン振興会主催のデザインが優れた物事に贈られる賞。まんまボウルは、ネコの行動を観察し、食べやすいよう手前を低くした設計などが評価された

菜園一丁目3-6農林会館7階 ☎601-7892
ホームページ: <https://cross-clover.co.jp/>

Support >> 起業家

市も応援しています

盛岡市産業支援センター

市内で起業しようとする人や起業後間もない人、既に事業を営んでいる人などの事業活動を支援・育成しています。

起業・経営なんでも相談窓口

経験豊かなインキュベーションマネージャー★(以下、IM)が、起業や経営に関するあらゆる相談に応じます。[※]要事前予約
★起業や資金調達の仕事の助言を行うなど、起業支援や起業家育成を行う人

交流ゾーン「コワーキングスペース」

他の利用者と場所を共有するだけでなく、アイデアや情報を交換することで、事業成長やネットワーク形成にもつながります。事務作業スペース(電源とWi-Fi接続環境あり)や起業に関連する図書などを用意しています。[※]要事前登録

起業スペース「創業支援室」

IMのサポートを受けながら、事業活動の拠点として利用できるスペースです。敷金や礼金のほか、インターネットの接続料金や管理費、光熱費の負担も不要! 市内で新たに起業する人や起業後5年以内の人が対象。入居期間は最長3年です。[※]入居・更新審査あり

大通三丁目6-12開運橋センタービル3階
☎同センター☎606-6700
☎☎相談窓口は9時~18時。各スペースについて詳しくは、お問い合わせください

詳しくは、同センターのホームページをご覧ください



同センターには幅広い年齢層の人から相談が寄せられます。起業や事業拡大のときは、顧客層を定めることが何よりも大事です。顧客の性別や年代、企業相手なら会社規模や営業地域など顧客イメージを明確にすること。それにより単価設定や売上計画などが変わってきます。相談者には、このことを主軸に、アドバイスをしています。

「この程度の事業プランで話を聞いてもらえるだろうか」と悩まずに、まずは気軽に相談してください。起業は、「0」を「1」にする素晴らしい取り組みである一方、軌道に乗せるには多くのハードルを超えなければなりません。立ち上げは一人かもしませんが、私たちがサポートします。同センターの機能を最大限活用して下さい。



市産業支援センター長 兼 インキュベーションマネージャー 小川淳さん

イベント

起業家などがビジネスプランを発表する交流型のイベントを開催します。たくさんの人とつながるチャンス! 申し込み方法など詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。
☎立地創業支援室☎626-7551

■起業家セミナー~ビジネスプランコンテスト~

起業を志す人や起業して間もない人がビジネスプランを発表し、IMなどの専門家と参加者による審査を行います。
☎3月9日(出)15時~17時
☎市産学官連携研究センター(上田四)
☎先着100人 ☎1008056

■第1回盛岡地域クラウド交流会

あなたが応援したい起業家に参加費の一部が投資されるクラウド・ファンディング[※]を行いながら仲間を増やす交流会です。
☎3月13日(水)19時~21時
☎プラザおでつて(中ノ橋通一) ☎当日、会場へどうぞ
☎1000円 ☎1025620
[※]アイデアを持つ人や事業を行う人が広く呼びかけ、共感した人が資金提供を行う仕組み

起業家塾

事業立ち上げまでの手順や事業拡大の考え方などを学ぶ、起業の入門講座です。平成17年からこれまで354人が受講。塾生募集は年2回(6月・12月頃)です。詳しくは、市公式ホームページなどでお知らせします。

カリキュラムの例(平成30年度 全6回)

回	テーマ
1	起業をするとはどういうことか ほか
2	起業プロセスを理解する(事業性の確認、必要な資金など)
3	事業の本質は「顧客の要求をみたくすこと」
4	事業開発・商品開発の発想方法 ほか
5	ワークショップ:自らの「事業スケルトン」
6	ワークショップ:数化収支計画・資金計画、日程化(実行計画の策定)

(株)クロス・クローバー・ジャパン 代表取締役 太野由佳子さん



ネコの健康を守ることを使命と考え、ネコにとっての使いやすさを最優先に、こだわった製品開発を手掛ける。(41歳。津志田21出身)

40歳	35歳	33歳	29歳	28歳	27歳	22歳
地域経済をリードする企業として、経済産業省の地域未来牽引企業に選定される	備前市におき起業家としての投資先第1号に選定される	備前市におき起業家としての投資先第1号に選定される	備前市におき起業家としての投資先第1号に選定される	備前市におき起業家としての投資先第1号に選定される	備前市におき起業家としての投資先第1号に選定される	備前市におき起業家としての投資先第1号に選定される

資金

起業を考えたとき、不安に思うことの1つが事業資金ではないでしょうか。市は、次のような制度で資金面でもサポートしています。審査内容など詳しくはお問い合わせください。

中小企業融資制度

開業資金を1000万円以内で融資します。また、起業から1年以上経過している人には、500万円以内の年末資金融資などもあります。[※]審査あり
☎起業を目指す人または起業して1年以内の人など
☎ものづくり推進課☎626-7538

▶融資優遇制度
同制度を利用する時に発生する信用保証料を市が一部補給します(県の同制度(一部)を利用した場合も含む)。[※]市内にある南部鉄道などの伝統産業事業者と産業支援センター・産学官連携研究センター・新事業創出支援センターの入居者で市長の認定を受けた人は全額補給

もりおか起業ファンド

盛岡広域での起業を支援するため、盛岡市と滝沢市、紫波町、矢巾町、盛岡信用金庫、FVC Tohoku(株)が出資し設立したファンドです。1社あたりの投資額は300~500万円。業種は問わず、資金使途の制約もないので、

人件費など幅広く使えます。投資後も、事業計画達成や業績向上のためにさまざまな経営支援をします。[※]審査あり
☎会社設立予定者と設立から5年以内の企業
☎FVC Tohoku(株)☎606-3558

月例会議で会社経営をサポートします

市長コラム 盛岡市長 谷藤 裕明

私も起業の経験があります。剣道の先輩から「県内に武道具の販売・修理をする専門店がないのでつくってほしい」と声を掛けられ、ふるさとの役に立てるならと、大学在学中に起業しました。まずは熊本まで行き、みっちり修理の修行。店を構えてからは、県内の学校や岩手県警に剣道を教えに行きつつ、その場で修理の依頼を受けたりと各地を飛び回っていました。「地元で修理できる店があって助かる」と声を掛けられるのがうれしかったですね。

起業するという目標を持つことで、生活のあらゆる場面で、次の仕事のヒントやアイデアに満ちていることに気がきます。誰もやっていない分野に挑戦し、自分が学んできたことを生かせる——それが起業の楽しさでもあります。



3月1日号の特集テーマは「東日本大震災8周年特集」です。